

確認しよう

小学校や中学校の「技術」などで学習してきた内容について確認しよう。

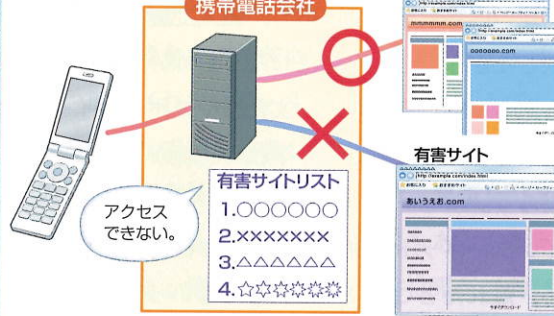
安全に情報通信ネットワークを利用するためのしくみ

IDやパスワードなどの個人認証 (→p.61)



インターネットの個人認証には、IDとパスワードを入力するものがよく使われている。パスワードは、悪意をもった人に破られないように、自分の名前や誕生日などの単純なものを使わず推測されにくいものにする。

フィルタリング



インターネットには、有害な情報も多くある。うっかりアクセスしてしまわないために、そのようなWebページにつながらないようにするフィルタリングというサービスがある。フィルタリングは携帯電話だけでなく、パソコンでも設定できる。

ウイルスチェック (→p.64)



コンピュータやユーザに被害をもたらすコンピュータウイルスというものがある。コンピュータを感染から守るために、ウイルス対策ソフトウェアをインストールして、ウイルス定義ファイルを最新の状態にしておく必要がある。

情報の暗号化 (→p.62)



ブラウザに錠マークが表示されるSSLでは、情報が暗号化されて送信される。これによって、情報が盗み見られることを防ぐことができる。

著作権や発信した情報に対する責任

著作権を尊重する。

✗ ファイル共有サイトに新曲がアップロードされている。公式のものじゃないけどダウンロードしよう。



たとえば、映画や楽曲などの違法な複製は、制作者に経済的な損害とともに制作意欲の減退などの悪影響を及ぼす。

インターネット上のルールやマナーを守る。

いろいろな人が利用していることを意識しないとね。



インターネットを利用する際には、ルールやマナーを守る。

個人情報の発信に気をつける。



氏名、電話番号、顔写真などの個人情報の発信はその危険性についてよく考え、状況に応じて自分で判断できるようにする。また、本人以外の方が勝手にこれらの情報を発信することがないようにする。

ネットワーク編

わたしたちの暮らす社会では、コンピュータネットワークが重要なインフラストラクチャーとなっている。また、コンピュータネットワークは、人と人のネットワークにも大きな影響を与えている。社会を支えるしくみを知り、社会の中で自分のはたす役割について考えよう。

第1章

コンピュータによる情報の処理と表現

第1節 コンピュータと情報処理

- コンピュータがどのように動いているのか学ぼう。

第2節 情報のデジタル化

- 情報がコンピュータでどのように扱われているのか理解しよう。
- 情報をデジタル化する利点を生かした作品をつくろう。

